

日露学生フォーラム提言

提言

この文書は、日露大学協会の下で開催された日露学生フォーラムからの提言です。

I. 経済・技術協力の領域では、起業家活動・農業・医療分野での協業を通じて、日露

両国の経済発展がもたらされるでしょう。

1. 私たちは、農業領域における以下の活動を通じた協業を提案します。

1-1. ロシアの土地利用に適した作物の潜在性を最大限生かすことのできる日本の農

業技術を提供する。

1-2. ロシアでの良質な米生産を実現する。

1-3. 農業技術と食文化の提供を通じて二国間の経済発展を促進する。

2. 私たちは日露起業家センターの設立と以下の活動を提案します。

2-1. 日露起業家センターを両国の複数の大学に設置し、ビジネス分野における若者向

けの基礎知識と技術提供を行う。

2-2. 日露起業家センターでは、青年起業家を対象とした日露共同事業を推進する。

2-3. 日露の専門家を招待した、会議やワークショップ、マスタークラスなどを組織し、

センターでの多様な活動を展開する。

3. 私たちは、医療領域での以下の活動を通じた協業を提案します。

3-1. 二国間での医療ツーリズム、共同診療所、医療機器操作等に従事する地域人材を育成する。

3-2. 共通の被曝経験を有する日露両国が双方の強みを生かし、治療と予防に関する研究教育連携を行う。

II. 教育文化領域では、日露学生協会の設立、ロシア文化センターの設立、ヴィザ手続きの簡略化を通じて日露の国民間の格差が解消されることでしょう。

1. 日露学生協会の設立

1-1. 日露大学協会の下に日露学生協会（RJAS）を創設する。RJASは両国の学生に留学とインターンシッププログラムの情報を提供する。

1-2. 日露学生協会が日露学生フォーラムを組織し、両国関係の発展のための包括的議論を行う。

2. ロシアセンターの設立

2-1. 日本にロシアセンターを設置し、フェスティバル、ロシア語講座、オンラインワークショップ、展覧会、芸術祭など諸活動を企画運営する。

3. 学生向けヴィザ手続きの簡略化

3-1. 18歳から35歳までの学生向けにヴィザ手続きを簡略化することを提案します。

提案日

2017年9月5日

2017年日露学生フォーラム参加者所属大学

極東連邦大学、モスクワ国立大学

大分大学、東北大学、新潟大学、千葉大学、山口大学、長崎大学、北海道大学、東京大学、筑波大学、

金沢大学、東海大学、近畿大学